

2022 AUTOBACS Super GT ROUND 5 FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 450km RACE RACE REPORT



この活動は多くのスポンサー様に支援されています

NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA PITWORK F-Premium UD TRUCKS Logisnext 日産車体 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ
ALTA ROCK PAINT PREMIER Assist YEARS COAT TOPPAN NGK NTK MAL TOOLS Dëff KAWMOTO GSI GT GTS KSB
SUNTORY pepsi puma 日産東京 日産プリンス栃水 日産プリンス埼玉 埼玉日産 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産
日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 日産大阪 兵庫日産 愛媛日産 日産プリンス福岡 日産プリンス秋田 長野日産 松本日産
千葉日産 日産プリンス千葉 日産自動車販売 浜松日産 京都日産 日産サテリオ佐賀 日産プリンス長崎 青森日産 日産サテリオ弘前 岩手日産
日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃水日産 新潟日産 甲斐日産 日産サテリオ千葉 日産サテリオ湘南 石川日産 福井日産 日産プリンス静岡
三重日産 和歌山日産 岡山日産 日産プリンス広島 日産プリンス山口 福岡日産 日産プリンス大分 宮崎日産 鹿児島日産 *Asato*

まえがき

～レポート作成にあたってのねらい～

「日産自動車大学の学生に、読んでいただきたい。」

「自動車業界を目指す高校生に、読んでいただきたい。」

「応援して頂いている皆様に、読んでいただきたい。」

富士戦から鈴鹿戦にかけての期間、広報部員や先生達と何度かミーティングをして準備をすすめるなか、私達は、「自動車の楽しさを広く皆さんに知っていただきたい。」と言う自分たちの気持ちに気付きました。

そして、3つのテーマを柱としてレースレポートを作成しました。

SUPER GT とは？

SUPER GT とは、日本内外からチームが集まり繰り広げられる自動車のレースです。レースはシリーズ戦で、2022 年シーズンは、岡山国際サーキットを皮切りに、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット、スポーツランド SUGO、オートポリス、モビリティリゾートもてぎで開催され、全 8 レース行われます。

SUPER GT は、GT500 と GT300 の 2 つのカテゴリーに分けられ、56 号車は、GT300 のカテゴリーで参戦しています。

直近では、56 号車は 2020 年シーズンで、シリーズチャンピオンを獲得しています。2022 シーズンもチャンピオン圏内にいるので、今後もお見逃しなく！！

シリーズ	総合順位	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	ポイント
2020	1位	4位	5位	9位	20位	1位	16位	1位	2位	71
2021	2位	1位	7位	3位	26位	3位	11位	3位	5位	55
2022		1位	7位	3位	6位	13位				36

↑ 56 号車の戦績になります



レース結果

8月27日（土） 予選 天気：曇り 気温：31℃ 路面温度：39℃

56号車は、オリベイラ選手がドライバーで、予選Q1 A組で走行し、公式練習のタイムを0.645秒上回る1' 57.985秒をマークし、A組14台中4位で予選Q1を突破し、予選Q2に駒を進めました。予選Q2では、藤波選手がドライバーで走行し、公式練習のタイムを1.142秒上回る1' 57.488秒をマークし、Q2出場車両16台中4位で、決勝レースは4番手からのスタートとなりました。両選手、車両にサクセスウェイトが100kg載っていることを感じさせない走りです。予選を終えました。

※Q1：1次予選 A・B2組に分けられ、Q1で上位に入らないとQ2には参加できない。

※Q2：2次予選 A組とB組の上位チームが参加し、決勝レースの走行順番を決める。

※サクセスウェイト：戦績によって重りを課せられる。56号車の場合、今シーズン（第1戦～第4戦での累積）のウェイト重量は100kgで、これはSUPER GTの規定ルールの上限值に値する。
ワンサイドゲームにならないように定められたルール。

8月28日（日） 決勝 天気：晴れ 気温：30℃ 路面温度：40℃

総周回数72周の内3回ピットインし、残り3分の1の時点で6位、最終的に暫定10位でチェッカーを通過しました。

その後、レース中に起こしたペナルティで、13位でレースを終えました。

第6戦でのリベンジを期待しています！！

※ペナルティの内容：「ドライブスルー」→ピットレーンを制限速度内で走行してからレースに復帰すること。

「競技結果に40秒加算」→レース終了時の暫定タイムから40秒加算されること。

※ピットレーン：車両がレース中にタイヤ交換や給油を行うために、自チームのピットに戻る時に通る道路の事。



担当：潤上

インタビュー ホスピタリティ領域

【日産京都自動車大学校】

テーマ「川嶋校長先生を知る」

2022年度から日産京都自動車大学校に赴任された川嶋校長先生。
そこで、川嶋校長先生はどんな方か学生に知ってもらおうと広報学生で話し合い
今回のテーマに至りました。



川嶋 則生 校長先生

私は、日産自動車が好きです。その理由は、世の中の車好きを裏切らない車を創り出す姿勢が好きだからです。裏切らない車というのは、新しい車だけでなく、フェアレディZやGT-RのDNAを注ぎ込まれた、運転して楽しい車という事です。私は、日産の車の中でもスカイラインが好きなのですが、スカイラインは、今も昔も運転して楽しい車だと思います。

私は昔、設計をしていました。仕事内容は、車の内装や外装やオプション装備品の設計・企画です。この仕事で大切にしていたことは、お客様が直接投げかけてくださる既知のニーズではなく、お客様が想像もしていなかった便利なものを企画したりすることです。

ニッサンメカニックチャレンジで、学生に学んでほしいことは、「**1人では成し遂げられないことは、チームで協力して取り組めば成し遂げられること。**」です。そのために、先輩・後輩の関係やチームワークを大切にして、人生の経験を積んでいってほしいと思います。

担当：池村

テーマ「学生に対する思い」

この活動は、学生主体で活動していきます。そこで、先生方は学生にどのような思いを抱いているのか疑問に思い、今回のテーマに至りました。

井上 恵太 先生

今回は、1年生も加わり総勢で40人での参戦となり、経験豊富な2、3年生を中心に活動しました。私はこの活動で、上級生に、「どうすれば皆が動きやすくなるか」を考えて欲しいと思いました。また、「指示するだけではダメで、背中を見せることの大切さ」を伝えました。

活動の全体を見て、学生みんなの表情から「いいチーム」が感じられていたのでよかったです。

私がこの活動で心掛けていたことは、この活動はあくまでも学生主体の活動なので、普段接点のない学年の垣根を越えたチームが活動しやすくなるように、「黒子に徹すること」です。学生には、周りに迷惑をかけず、今の自分にできることは何か考え、個々がそれを全うする責任感と成し得た達成感から、次の一步を踏み出せる人になって欲しいと思っています。

【販売会社様】

ホスピタリティエリアにお越しになられた販売会社様に、紙面でのインタビューを行いましたのでいくつか紹介させていただきます。

三重日産自動車株式会社 小野 徹雄 さん

この活動を通して、TSの方々には、普段の実務では経験ができない高度な作業を身に付け、それを活かして欲しいと思います。また、学生には、日産学園という良い環境の下で、先生の話をよく聞き、実習等積極的に学んで欲しいと思います。

日産プリンス三重販売株式会社 笹岡 宏介 さん

日産自動車の好きなおところは、SUPER GT などモータースポーツで活躍する車が多く、EVからスポーツカーまで幅広いジャンルに対応できるおところですね。この活動を通して、結果を出す為に準備をすることや、チームワークなどを体験してきて欲しいと思います。

兵庫日産自動車株式会社 土井 広行 さん

この活動を通して、TSの方々には、レーシングメカニックならではのシビアなおところを体感して欲しいです。また、この活動を普段の業務に活かして欲しいと思います。学生には、自動車の部品や仕組みをしっかりと理解し、実習等で手を多く動かして欲しいと思います。

担当： 瀧上

～学生スタッフ奮闘記～

2年 柴田 拓未 さん (写真最右)

右の写真の様子は、今回初参加の学生スタッフが、自分の班の活動を他の班に引き継いでいるところです。初参加の学生は、何をすれば良いのか解らず、行動に移すことまでできる人は少ないのですが、リーダーは取り込み中で、自分が説明できる状況だったので、行動に移しました。



自分はこの活動に初めて参加して、**周りを見て状況判断ができるようになるという目標**をたてました。初日はうまくできるか、てんやわんやしていましたが、2日目からは不安感がなくなり、しっかりとお客様を迎えることが出来ました。

1年 山本 椋太 さん (写真左)



左の写真は、お客様対応の際に跪きながら説明を行っているところです。自分はお客様に快適に過ごしてもらい、そして**喜んでもらえる「おもてなし」**をしたいと思い、行動に移しました。他にも、飲み物を取りに行くために立ちあがろうとしているお客様をお見掛けしたら、その都度お声

をかけたり、各テーブルを巡回して、空いているお皿を下げたりなど、常に何ができるか考えていました。初日は、お客様に声をかけるタイミングがわからず、ぎこちなかった場面が多々ありましたが、2日目は、それが段々解消されたと思います。この活動を通して、将来社会人になるにあたって、貴重な経験ができました。そして、自分で考えて行動することができたと感じます。

担当： 瀧上

1年 木村 太郎 さん (写真中央)



上の写真は、お客様を案内する際に、着席しやすいようにサポートしているところです。木村さんの目標は、**お客様に気持ちよく過ごしていただく**ことでした。また、自分は社会人経験があり、このような対応を無意識に行っていました。対応する際の言葉遣いも社会人経験を活かし、正しい敬語を心掛けました。初日は学生同士のコミュニケーションや情報共有が上手くいかず混乱が起きていましたが、2日目は、初日より情報共有ができていたのかなと思いました。

始めからしっかりとおもてなしを行えるように、学校でも接客の練習を開いた方がいいかなと思いました。

どの学生達も、自分にできることはないか、自分に何ができるのかを一所懸命になって考え、**最高のパフォーマンスを発揮できるように創意工夫**をしていました。その姿に惹かれるものがあり、取材して記事にしたいと思いました。記事にできた学生は一部ですが、みんなそれぞれに学びがあり、成長していていると感じました。このような企画・イベントに参加できていることは、本当に貴重な経験なのだと感じます。

担当： 渕上

テクニカル・スタッフ インタビュー

石川日産自動車販売株式会社 小松北店 宮 正真 さん

「お腹の中にいる時から自動車の音を聞いて過ごしてきた。」

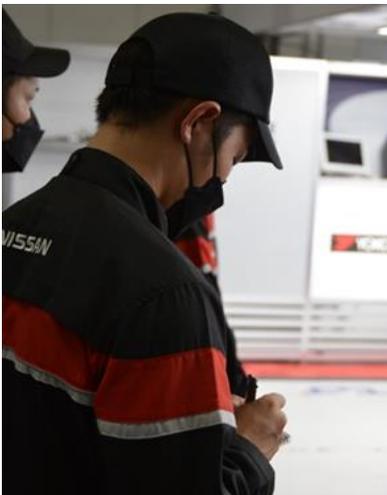
車好きな両親の影響で、毎年欠かさず鈴鹿にレースを見に行ったり、自分の車を持てたりと、**車の英才教育を受けてきた**ため、必然的に私もこの車業界が大好きになりました。そして整備士になり、このレースをメカニックとして内側から見れるチャンスが来た時、すかさず立候補しました。

レースメカニックと整備士には共通点があり、メカニ

ックはドライバーの、整備士はお客様の命を預かっているという点です。しかしメカニックは車

両が極限の状態で行くことから、整備性の高さ、正確性、作業のスピード感がすごく大事になります。これは整備士にも言えることなので、実際に見て、聞いて、触って、学び、かけがえのない体験ができました。

こうした可能性を広げるためにも、学生の皆さんにはたくさん勉強するようにしてほしいです。それは**ただ勉強するのではなく、学科で得たことを実習で活かせるように、実習で得たことを学科で活かせるようにすることが大切です**。そして、短期記憶で点数を取りに行く勉強も良いですが、記憶ではなく理解し自分の血肉にする、就職してから活かせる学びができれば素敵ですね！



担当：森岡



「時代の波」

普段の整備より緻密な作業を要求されているのを身に染みて感じました。販売会社の工場では、一人ひとりがそれぞれ一つの仕事を受け持つことが基本です。しかし、レースメカニックになると、1台の車両に対して、複数名のメカニックがカテゴリー毎に担当を決めて、チームとして活動して

いました。そこが販売会社とレースメカニックの大きな違いだと感じました。そうすることで、各カテゴリーのメンテナンスは、**より緻密に正確に限られた時間で最高のパフォーマンスが発揮できる**と言えます。

必然的に、各作業は理論や経験で裏付けされ、洗練されたものになっていきます。普段の整備においても、もっともっと作業を追求していく余地があると学びました。

今世界的にカーボンニュートラルを実現するために、新車販売される自動車が変わってきています(ガソリン車からハイブリッド車や電気自動車に)。その電気自動車などの新しい技術や知識を沢山学んでおいて欲しいです。今のベテランの整備士の方々は昔のガソリン車の経験は豊富にあり整備技術も凄いと感じます。近年の自動車業界は変革期にあり、同時に黎明期でもあります。そんなベテラン整備士達と同じスタートラインにいると考えることもできます。**今後、更なる新技術が増えてくることも踏まえて、これから整備士になる学生達にとってはチャンス**と言えらると思います。



担当：森岡

テクニカル領域 学生スタッフ インタビュー

2年 松下 颯汰 さん

「憧れのレースメカニック」

初日は車検だけということもあり、ピット内は和やかな雰囲気でした。そして公式予選、本戦を控えた日になると、前日とは打って変わり、メカニックの方々の目付きが変わり、ピリピリとした緊張感を肌で感じました。しかしそうした中でも休憩はしっかり取るなど、**オンとオフの切り替えが早く、さすが「プロ」**だなと思いました。



僕はレースメカニックに憧れて、整備士を目指しました。その憧れの場所で、実際に自分の手で作業出来たことがすごく嬉しかったです。そうした今までお客さんとして見てきたレースとは違い、**普段知ることの出来ない「本物の勝負の世界」**。このような特別な時間を体験出来るという事がこの活動の魅力だと感じました。

担当：森岡

2年 及川 聖太 さん

「これぞプロの世界」

レースは1分1秒を争う世界。たったひとつのミスさえも許されないという緊迫した環境。そういった中で常に緊張感を持ち、瞬時に正確に判断する能力が問われる場面が数々ありました。それでも幼い頃からの憧れの場所であるため、実際にタイヤ交換もGTマシンを車検場へ押していく時も「これを1度はやってみたかったんだ」と高揚した気持ちが抑えられませんでした。



このように普段では味わえない体験をすることが出来るのはこの活動の魅力だと言えます。その為、レースが好きな人もそうでない人もこの活動に参加して「これぞプロの世界」というものをぜひ体感して欲しいと思います。

担当：森岡

1年 田畑 竜晴 さん

「ハングリー精神」



この SuperGT というレース自体無知で、この日産メカニックチャレンジには初参加という全てが初めてのスタートでした。もちろん不安な気持ちは多くありました。それでもレースを深く学びたいと思ったので、ピットでは周囲に気を張って「この活動で得られるものを全部得よう」という気持ちで挑みました。

レースではデータ取りが大事になることを学びました。走行後のタイヤの状態であったり、その日の天候によってアライメントなどのセッティングの細かな変更など、本戦で最高のパフォーマンス発揮できるような工夫がされていました。

学生スタッフ募集に手を挙げた時と、実際に活動が始まった今とでは、レースや自動車に対する感じ方が全く変わりました。これは、参加しないと判らないし、言葉や文字で伝えるのは難しいです。**普段の生活では絶対に学べないことや気づきがあり、とても良い機会**なので、是非多くの方に経験して欲しいと思います。



担当：森岡

ドライバーサポート 担当者 インタビュー

1年 塚田 拓海 さん

「これからも率先躬行を大事に」



ドライバーサポートという役割はドライバー交代時にタオルとドリンクを渡しに行くことや、そのドリンクの作成、他にはYouTubeのMCなど仕事としては色々あります。それでも空き時間は発生するので、**自ら率先して「何かひとつでも出来ることはないか」と常に考えて行動**してきました。大変だと思いましたが、いい勉強になりました。

この役割の良い点としてはドライバーとの距離が近い事です。実際にドライバーのおふたりからレース終わりに拳を合わせてもらい、「ありがとう」や「お疲れ様」と言葉をかけて頂きました。すごく嬉しかったのを今でも覚えています。レースは好きだけどレース関係に就かない人、レースは見たことあるけど全然詳しくないって人でもいい経験ができます。この滅多とないチャンスをぜひ多くの方に掴んで欲しいです。



担当：森岡

あとがき

今回、この NISSAN MECHANIC CHALLENGE という活動をもっと広く知って欲しいと言う思いから、レポートを多くの『“学生と高校生”に読んでもらいたい』というテーマで活動してきました。この活動に興味を持ってもらうために、分かりやすく楽しく読んでもらうにはどうすれば良いか、何度もミーティングを重ね、練り上げてきました。

このレースレポートでは、実際にこの活動に参加した販売会社の整備士(TS)の方々や学生の生の声を知ることが出来ます。活動を経て、何を感じ、何を得たのか、そしてその経験をどう活かしていくのか、といった内容をインタビューし、記事にしました。

私たちは皆さんの活動している姿を一番近くで見してきました。学生が不安と好奇心でいっぱい表情で見つめている姿、テクニカル・スタッフの方々の日々積み重ねてきた経験や知識を生かして作業している姿を間近で観ることができ、多くを学ぶことができました。



私達が、この活動に参加できているのは、KONDO RACING TEAM の皆様をはじめ、スポンサー様や日産自動車、ファンの皆様など多くの方々に応援してくださっているからです。

学生一同 心より深く感謝致します。ありがとうございました！

NISSAN REALIZE YOKOHAMA PITWORK UD TRUCKS Logisnext 日産車体 株式会社ゼロ 日産モータースポーツ&カスタマイズ
ALTA ROCK PAINT PREMIER Assist STEARNS COAT TOPPAN NGK NTK MAL D&FF KAMMOTO GSI GSI KSB
SUNTORY pepsi puma 日産東京 日産プリンス栃水 日産プリンス埼玉 埼玉日産 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産
日産プリンス三重 愛知日産 日産プリンス名古屋 日産大阪 兵庫日産 愛媛日産 日産プリンス福岡 日産プリンス秋田 長野日産 松本日産
千葉日産 日産プリンス千葉 日産自動車販売 浜松日産 京都日産 日産サティオ佐賀 日産プリンス長崎 青森日産 日産サティオ弘前 岩手日産
日産プリンス岩手 日産プリンス宮城 栃木日産 新潟日産 甲斐日産 日産サティオ千葉 日産サティオ湘南 石川日産 福井日産 日産プリンス静岡
三重日産 和歌山日産 岡山日産 日産プリンス広島 日産プリンス山口 福岡日産 日産プリンス大分 宮崎日産 鹿児島日産 *Arco*